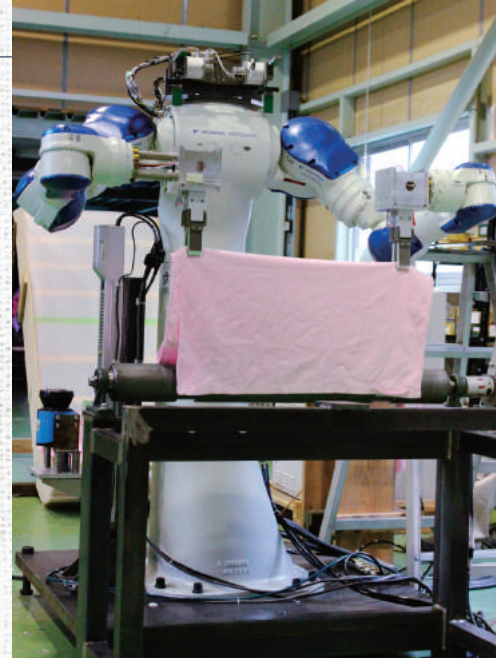


産産連携支援の事例

山陽ダイヤパーサーヴィス株式会社と株式会社 関西技研



作業工程を自動化したいが世の中には無い機械。イメージはあるものの、自社では具体化(開発)ができない。そのような企業(山陽ダイヤパーサーヴィス(株))が、姫路ものづくり支援センターの仲介で、機械・装置設計に数々の実績とノウハウを持つ企業(株)関西技研)と出会い、世界初の新たな機械を開発した事例。

(竹内社長に) 関西技研さんと連携することになったきっかけや対象となるものは?

弊社は病院や介護施設向けタオル等のクリーニングサービスなどを行う所謂「リネンサプライを主業務とする会社」です。タオルを洗濯・乾燥した後、**タオルをたたむ機械へは人手で投入**しています。ここを**自動化したい**と考えていましたが、世の中にはありません。機械装置メーカーやものづくり関係の相談窓口へも相談しましたが良い返事は得られませんでした。姫路にも**相談窓口(姫路ものづくり支援センター)**があることを知り、相談したところ、**関西技研の石井社長を紹介**されました。その後、石井社長に弊社までお越しいただき、工程を見学していただくと共に自分が考えている装置のアイデアやイメージ等をお話し、開発をお願いすることになりました。

(石井社長に) 相談を受けられた時の感想や具体的な対応、今後の予定等を。

話だけではよくわからないので、取り敢えず、現場を見せていただき、『**世の中にない機械を作りたい。**』という竹内社長の思いを理解しました。一般的に機械というのは形が定まったものを扱うのは得意ですが、今回の案件は**山積みになったタオルを1枚ずつハンドリング**していくというもので、**機械が苦手とする分野**です。『**難しいからこそチャレンジ!**』と開発を受けさせていただくことにしました。現在、1号機は完成し、工程への組み込み・動作確認を行っているところです。また、開発過程で**特許も申請**しました。

(両社長に) 姫路商工会議所や姫路ものづくり支援センター利用について、読者にアドバイス等あれば…。

(竹内社長) 何かやりたいと思ったら、**とにかく相談**してみる。きっかけが掴めるかもしれない。

(石井社長) 自社が**どんな会社か何が得意か等を知って**おいてもらうことも大事。今回の件もディレクターさんが弊社のことを知っていたので、声をかけてくれたと思います。

(両社長に) 事業への思いや御社のPR等をお願いします。

(竹内社長) 高齢化に向かい、弊社の事業も益々必要とされると思っています。今までのやり方を踏襲するのではなく、常に**変革にチャレンジ**し、**世の中に役立つ企業**で有り続けたいと思っています。

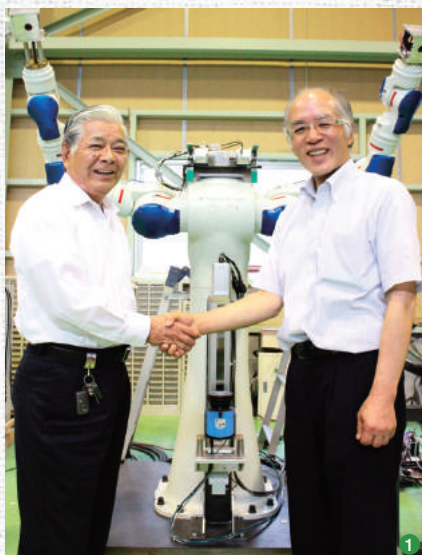
(石井社長) 弊社は「**機械装置設計製作**」を専門とする会社で、「**イメージをカタチに。卓越した独創性と技術力で次なるステージの幕を開ける。**」というスローガンを掲げていますが、本案件はまさにそのスローガンに合うものだと思います。「**こんな装置が作れないか? 他社では難しいと断られた。**」そんな時には是非弊社にお問合せをお願いします。

ディレクターより一言



尾嶋 秀己

ある日、竹内社長から「ロボットのような物を作れるところを紹介してほしい」と電話がありました。当時、竹内社長とは面識はありませんでした。電話だけでは内容がよくわからず、来所いただき、詳しく話を伺ったところ、産業用ロボットを使った装置(機械)開発ということで、『**はりま産学交流会**』を通じて存知あげていた(株)関西技研の石井社長に相談をしました。



【会社概要】

山陽ダイヤパーサーヴィス株式会社
〒679-4221
姫路市林田町林谷696-100
TEL 079-261-3432

株式会社 関西技研
〒671-1107
姫路市広畑区西蒲田1690
TEL 079-238-0310

- ①左：山陽ダイヤパーサーヴィス(株) 竹内社長
- 右：(株)関西技研 石井社長
- ②工場内を案内する竹内社長
- ③ロボット開発に携わった社員の方々